

平成24年度国際事業化研究センター研究プロジェクト評価結果

平成25年3月29日

山形大学国際事業化研究センター長
飯塚 博

この度、研究プロジェクトの進捗確認、成果共有及び支援継続可否の判断をすることを目的として、以下のとおり評価を行いましたので報告します。

1 評価方法

3月にセンター長及び副センター長が、研究プロジェクト代表者にヒアリングを行った後、合議により評価を行いました。

2 ヒアリング

研究プロジェクト代表者が作成した研究成果報告書に基づき、研究経過等の説明を5分、質疑応答を10分行った後、評価に当たっての着目点（※1）の各要素に着目し、評価基準（※2）により評価を行いました。

3 合議

ヒアリングを行ったプロジェクトについて、評価に当たっての着目点（※1）の各要素に着目し、総合的な判断の上、評価基準（※2）により評価を行いました。

4 総評

評点Sを4件、Aを7件、Bを1件としました。

全12プロジェクトにおいて一定の進展及び研究成果が認められました。期待以上の素晴らしい成果を上げておられるプロジェクトもありましたが、一部に関しては、今後、連携すべき企業の検討、知財戦略の立案、研究成果のアピールなどが必要と思われるプロジェクトもありました。当センターとしては、ご要望に応じてこれらに協力対応させて頂くと共に、今後の進展に大いに期待しています。

※1 評価に当たっての着目点

(1) プロジェクトの進展状況

申請書に記載されたプロジェクトの目標（以下「目標」という。）に照らして、着実に研究が進展しているか。

(2) 研究成果

目標に照らして、現時点で期待された成果（次のⅠ～Ⅲ）を上げているか、または上げつつあるか。

Ⅰ 事業化が期待できる

Ⅱ 将来の柱の一つとして期待できる

Ⅲ 人材育成への貢献が期待できる

(3) 今後のプロジェクトの推進方策

これまでの成果に照らして、今後のプロジェクトの計画（マイルストーン）は適切なものとなっているか。

※2 評価基準

評点	評価基準
S	目標に照らして、期待以上の進展が認められる
A	目標に照らして、期待どおりの進展が認められる
B	目標に照らして、研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	目標に照らして、研究成果が見込まれないため、支援を中止する

以上